

## お客さまへのメッセージ

理事 事業部長  
野田 清文 (第2SI&S事業部)

## 魅力あふれる街で、未来へ！

今年の夏、数十年ぶりに東京で大学時代の仲間と集まる機会がありました。懐かしい顔と昔話に興ずる中で、友人の多くが関東や関西にいて率直な疑問なのでしょうが、「おまえはなぜ北九州にいるのか？」と問われ、すかさず「魅力的な街だ！北九州は」と答えました。



八幡東区にある“皿倉山”より

弊社の活動拠点である北九州市は、古くから大きな社会変化の舞台となってきました。20世紀始め、重工業の集積と同時に爆発的に人口が増え、1963年には世界的にも類を見ない5市対等合併により、北九州市が発足したことは市民にはよく知られたことです。北九州市の魅力は、工業都市、商業都市、港町、そして豊かな自然とエリアごとに異なる歴史や文化を持ち、様々な表情を見せてくれること。時代の流れとともに産業構造が変化していく中、「ものづくりの街」「環境の街」「福祉の街」と着実に成果を積みあげ、いつも時代の少し先を走り、日本の未来に大きな示唆を与えていることなど、挙げたら限がないほど多彩です。

こんな魅力のある北九州市ですが、「東京一極集中・地方創生」という言葉が最近話題の中、御多分に漏れず、鉄鋼や化学など重要産業の衰退や少子化などの影響により、今年4月時点の人口は1979年のピーク時から35年の間に10万人減と、減少傾向にあります。過去より地域の活性化対策を積極的に行っている北九州市ですが、現在は今後の産業振興や雇用創出のあり方を示した「北九州市新成長戦略」が推進されています。これらの取組みには行政だけでなく、地場企業・団体、大学が連携して、未来に向けて「住みたくなる街」「訪れて楽しい街」を目指し、若い人が地元で活躍できる場を作ることが緊要となります。

鍵となるのは、製造、環境、公共／公益、文教、医療等が連携し地域に密着した情報共有！弊社はこの地で創業して47年、培ってきた7つの光り物（Initiative7）はまさにこの鍵となる分野で、北九州市の発展と共に成長してきました。魅力あふれるこの地で事業を展開できることに感謝しつつ、この光り物をさらに充実させ、ITの可能性を信じ、地場企業の皆様と連携して、北九州のさらなる魅力向上に貢献できるように頑張っていきたいと思っております。

## エコテクノ2014 ご来場ありがとうございました



今年も10月8日～10日、エコテクノ2014【地球環境・新エネルギー技術展&セミナー】に出展いたしました。同時に開催された中小企業テクノフェアin九州も含め大盛況で、3日間で33,420人のお客さまが来場されました。

弊社ブースでは「ITでeco!」と4つのキーワードをクローズアップし、それぞれ、製品やサービスのご紹介・展示などを行いました。

### ◆ITで つないで eco!

製造から廃棄物処理まで資源循環をご支援

- ・製造テンプレート「1901」
- ・GreenPlanetPack / GreenPlanetPack+

### ◆ITに まかせて eco!

再生可能エネルギーの最適化をご支援

- ・「港湾地域低炭素化推進事業」のご紹介



ブースの様子



ITによる“人に優しい環境作り”を考えます

### ◆ITで つくって eco!

3D技術でモノづくりの未来を変革

- ・3Dプリンター「Cube®3rd generation」
- ・ハンディ3Dスキャナー「Sense™」

### ◆ITで メモって eco!

現地調査業務のペーパーレスをご支援

- ・モバイル利用で現地調査を効率的かつ容易にするソリューション

また、特設ステージでは今年もプレゼンテーションを実施しました。IT機器の進化の歴史と背中合わせの環境への影響、そして、それを克服してきたIT技術の進化をご紹介します。今後ますます重要となる、IT基盤技術による環境負荷低減への取り組みを、これからもお客さまにお届けできるように、一層努力していくことを宣言いたしました。

最後になりましたが、ブース・セミナーにご来場いただきました皆さま、本当にありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくおねがいいたします。

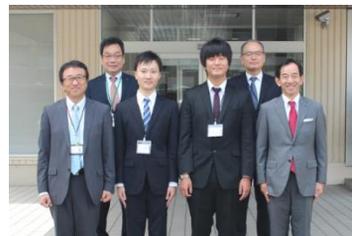


小学生学習支援プログラムの様子

## 4月が楽しみです

## 2015年度新卒採用・内定式

10月1日、2015年度新卒採用者2名の内定式を実施しました。内定者は夏から社内の各イベントに参加していたため、“会社の雰囲気もわかっているはず” だったのですが、やはり【内定式】ともなると緊張するものなのか、例に漏れず、多少のぎこちなさを感じました。



代表取締役社長の長浜より、「今日、お二人にブラザー（教育担当）を紹介します。仕事の質問や新入社員ならではの、いろいろな悩みなどをブラザーがフォローしますので、安心して来年4月に入社してきてください。」と祝福の言葉がありました。



その後内定者は、役員との昼食会、2014年度新人成果発表会に参加しました。発表会での先輩の姿に「1年後には自分たちが、あれをやるのか!？」と驚いていましたが、逆に「あそこまで、教育してもらえるんだ。」という安堵感もあったようです。

社会人になるための1日目として、慌ただしくハードだった反面、忘れられない充実した1日になったことでしょう。

### ◆ 2014年度新入社員成果発表会

10月1日、2014年度新入社員による「成果発表会」を実施しました。今年度の事例研究テーマは、“クラウドを活用した【健康管理webアプリ】”です。それぞれが創意工夫したアプリに、AWS（AmazonWebService）や、webAPIなどのピュアな技術を取り入れ、十分興味深いものとなりました。

発表会前に実施したブース形式のデモに、先輩社員も興味津々!!超満員でした。アイデアを駆使し、データの掴みや笑いもバッチリ! 会社に馴染んだ新入社員の姿をみて「もう不安はない!」と確信しました。その後の成果発表会では、学んだこと・感じたこと、そしてこれからの決意を、成長した姿とともに力強く発表しました。

弊社の新人研修は入社2年目の社員がブラザーとして指導し「前年度に負けないように!」という高い競争意識をもって取組んでいます。その表情に、新入社員だけでなく、ブラザーの成長と頼もしさを強く感じます。今年新人の皆さんも、来年はブラザーとして後輩を導く立場に……。また来年の新入社員成果発表会が楽しみです。

(事業管理)



どのブースも大盛況!  
笑いも誘って、終始  
和やかな雰囲気です。



先輩からの質問にもしっかり  
答え、個性あふれる楽しい  
発表でした。

## 被災地支援活動 『森の長城プロジェクト』 (CSR活動)

～ 瓦礫を活かし、巨大津波から命を守る森の防潮堤を築くプロジェクト～

J BグループではCSR活動の一環として、『森の長城プロジェクト(※)』の活動に賛同し、年に数回、被災地で活動を行っています。9月末には、J Bグループがオリジナルで企画し、宮城県岩沼市の海岸付近で、1,000本の苗木植樹と草抜きを行いました。この活動には、グループ各社から有志49名が参加し、弊社からは上別府(事業管理担当)が参加しました。

【活動概要】 現地での活動：9月27日(土)～28日(日)  
場所：宮城県岩沼市 仙台空港東側(海側) 一帯

「両日とも天候に恵まれ、清々しい気持ちで活動できました。被災地の状況から、当時は本当に大変だったことが想像できました。支援活動の中で、震災復興が徐々に進んでいる姿に被災地の力強さを感じて、“自分自身も頑張らねば！”というパワーも頂けた2日間でした。」(上別府)



丁寧に、一生懸命、想いを込めて



※『森の長城プロジェクト』とは  
東日本大震災の被災地沿岸部300キロを、瓦礫を活かして照葉樹森の防潮堤を作り津波から命を守ることを広く推し進めている活動団体です。

### ◆ 交通安全講習会

10月15日に八幡東警察署 交通課交通指導係長 大和 裕一様を講師にお招きし、交通安全に関する講習会を開催しました。本社勤務の社員を中心に60名ほどが、講師の方のリアルなお話聞き入り、一瞬の気の緩みで家庭や会社の崩壊をも招く交通事故の恐ろしさを改めて認識し、車を運転する際には、十分余裕を持って行動し、交通安全を実現することを心に誓いました。



かけると泥酔状態となるメガネで、飲酒運転の怖さを実感

### ◆2014全国餃子サミット & 全国餃子祭りin北九州

10月4,5日、地元の八幡中央区商店街を中心に開催された同大会は、何と15万人を超える人出でにぎわい、弊社社員も、たくさんの名物餃子に舌鼓を打ちました。

地元企業として大会を応援すべく協賛したところ、のぼりに社名を入れていただけました。

(事業管理)



# 走る走る25時間！歩く歩く100km！

## ◆ 東田の秋・満喫！ウルトラ25時間駅伝大会

毎年恒例、秋のイベントである「第10回 八幡東田ウルトラ25時間駅伝大会」に、“TEAM SOLNET”として参加しました。天気はあいにく雨でしたが、今年芝生や散歩道がきれいに整備された、会場の東田大通り公園は、例年以上に快適でした。

今回も、部門ごとに担当時間帯を決め、いつも一緒に仕事をしているメンバーがたすきをつないで走ります。職場で見るのとは違う、生き活きとしたみんなの表情がとても新鮮です。

また、テントでのサポート準備は、駅伝イベントリーダーの近藤をはじめ、部長を中心とするメンバーが行いました。バーベキューやおでんなど、恒例のおいしい食べ物と飲み物のサービスが、雨に濡れて疲れた体にとってもありがたく、参加者はみんな笑顔で楽しんでいました。

昼はにぎやかに、夜は黙々と走り続け、190人で25時間つなぎ続けた1本のたすきは、最終走者である社長の長浜とともに、今年も無事ゴールすることができました。



朝早くからのテント準備、沢山のおもてなしがありました



Topic

## ◆ 100km先のゴールに向かって！ 行橋～別府100kmウォーク

今年も「行橋～別府100kmウォーク」が10月11日に開催され、弊社社員とその家族21名、そしてJBグループからは前社長の山本が2名を引き連れて、総勢24名で挑戦しました。そのうちの10名が初参加でしたが、100km先輩社員からの事前のアドバイスに基づく地道なウォーキング練習の積み重ねと、入念な準備が功を奏した結果、なんと今年は20人も完歩することができました。

100kmを完歩するためには、早い人で約20時間、遅い人でも24時間程度歩き続けます。歩くにつれて足や腰は痛くなり、日が暮れると寒くて、寂しくて、辛さは最高潮に達します。

その背中を押し続けるのは、スタート地点での熱い応援や差し入れの心のこもったおにぎり、一緒に歩いている仲間たちのひたむきに頑張る姿、携帯に頻りに送られてくるメッセージの数々です。

そして、自身との戦いに打ち勝った末のゴールには、サポートメンバーが深夜から準備した休憩エリアでたくさんの笑顔が出迎えてくれ、みんなで一体となる感動を味わうことができました。



### 『Trend Micro Deep Security』による

### Windows Server 2003 サポート終了後のセキュリティ対策

Windows Server 2003 のサポートが2015年7月15日で終了します。

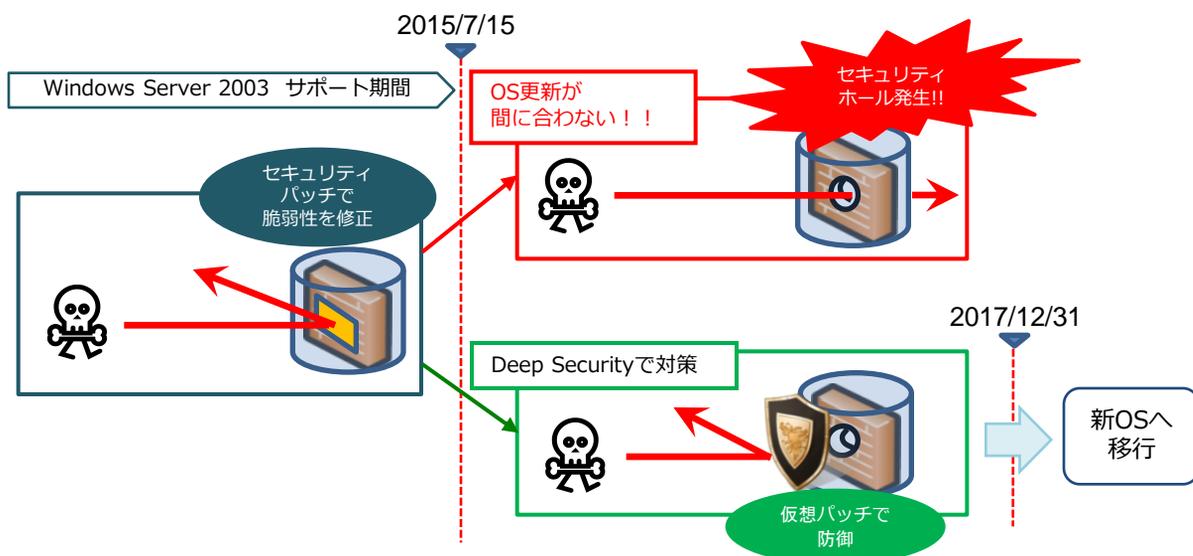
サポート終了までに最新OS等に移行することが望ましいですが、期限内に移行できない場合、トレンドマイクロ社の「Trend Micro Deep Security」を導入し、「仮想パッチ」による脆弱性対策機能により、セキュリティ保護を行う方法があります。

#### <仮想パッチとは>

- ・ OSやアプリケーションの脆弱性をつく攻撃コードを ネットワーク上のパケットレベルでブロックし、保護する技術
- ・ ソフトウェアのコードレベルでの修正を行わず脆弱性を保護できる

#### <Deep Security導入のメリット>

- ・ Windows Server 2003 のままシステムを継続利用できる  
(Windows Server 2003 上での Deep Security の動作は、最短で2017年12月末までサポート)
- ・ セキュリティホールが発生した場合でも、仮想パッチにより攻撃を防御できる
- ・ 仮想パッチはサーバの停止・再起動をせずに適用出来るためサーバの運用負荷が低減する



本製品については、トレンドマイクロ認定資格取得の技術SEがお手伝いさせていただきます。  
お気軽にお問合せください。 (サービス推進部 田邊 淳)

# 最適な I T インフラ環境をご提供！

私たち第1ITSグループは、製造業、エンジニアリング業、医療、公共、文教などの幅広いお客様に I T インフラの企画から、設計・構築・運用・保守に至るまで、ワンストップで  
ご支援させて頂いております。

業務としては、オープン系サーバーの構築を軸に、お客様のご要望やニーズに応じて、仮想化技術、セキュリティ対策、クラウド環境への移行など多岐にわたってサービスを提供しております。

直近の事例では、DBのレスポンスを向上させたいという大規模製造業務のお客様のご要望には、SSD(※)を採用した改善提案を行い、導入させて頂きました。こちらについては、お客様にも大変評価頂き、他システムにも展開予定となっております。



馬場、下畑、森本、中村、増田、柄本  
山田、田邊、平塚、末寄

その他にも、中央省庁様向けにインフラ構築をご支援させて頂いております。お客様からの難易度の高いご要望にもお応えできるよう、グループ内の経験豊富な各分野のエキスパートが意見交換を活発に行い、技術力や知識を結集してチーム力で提案に努めております。

これからもお客様の様々な課題に、期待に、お応えし、最適な I T インフラ環境を提供していただけるよう、お客様、グループメンバーとのコミュニケーションを大切に日々活動してまいります。

(第1ITSグループ 中村 一哉)

## お客さまへ一言

- 田邊 淳 … I T のプロフェッショナル集団です。越えられないハードルはありません！
- 山田 利伸 … メーカーとタイアップして、最適なネットワーク構築をご提案致します
- 末寄 亮 … 仮想化案件が大得意なメンバーが目白押し！御社の課題を解決します
- 柄本 誠 … 九州一円どこへでも駆けつけます！
- 森本 健 … うまい、やすい、はやいをモットーにがんばっています
- 下畑 隆行 … サーバー統合お任せ下さい
- 平塚 和徳 … これまでの構築経験を活かしお客さまの課題解決に取り組んで参ります
- 馬場 兼一 … 国内外問わず、お客さま I T インフラのご要望に全力で取り組みます
- 増田 任朗 … 苦難の時こそ笑顔忘れず！いつも笑顔で頑張ってます
- 中村 一哉 … 明るく、元気に、大きな声で！いつも全力で頑張ります！

※ Solid State Drive の略。ハードディスクより高速に読み書きできるドライブ装置。

## 常にチャレンジする気持ちを忘れず

今号でご紹介したエコテクノ2014では、コンセプトを「ITでeco!」としました。

この「ITでeco!」をさらに深めるため、先日「ITで環境をよりよくしていくアイデアづくり」をテーマに、若手有志と環境ソリューション担当メンバーによる短期集中セッションを行いました。



参加者は開発SEだけでなく、営業やインフラ担当、新入社員までと多彩なメンバーです。経験や知識の違いはありましたが、「一緒にITで環境をよりよくしていこう」という一体感のもと、テーマごとにそれぞれのチームの特色豊かに成果をまとめあげることができました。

弊社がソリューション事業を始めたばかりの頃は、開発や営業のノウハウがないため、何かにつけ、うまくいかないことが多かったそうです。しかし、失敗を恐れないチャレンジ精神で、社員ひとり一人が、「自分たちこそが会社を作っていくんだ」と気持ちをひとつにし、アイデアを持ち寄って、小さな改善を繰り返したことで、次第に成果が生まれていきました。

「ITで環境をよりよくするには」という、新しいチャレンジとなる今回のセッションでも、みんなの強い気持ちと、熱のこもった議論が、ソリューション創業期にも負けないほどに、たくさんのユニークなアイデアを生み出しました。また、そのアイデアとアイデアが相互に「化学反応」を起こし、今後さらに広がっていく可能性も実感しています。

時代は移り変わり、私たちのまち 北九州の抱える地域の課題も、変わり続けています。今までの「解」が、今後も「正解」であるとは限りません。その答えを求めて、常にチャレンジする気持ちを忘れず、みんなで知恵を出し合い、議論を交わすことで、今までにない新しいソリューションを創り出していきたいと思えます。

(Y.Nishino)

### 編集後記

秋の深まりを告げる二十四節気の「霜降」を過ぎたころ、「こも巻き」が施されている松林をみかけました。この風景を見ると、幼い頃に「松の木って寒がりなの？」と母にたずねた記憶がよみがえります。少しずつ温かみのある色に染まっていく「皿倉山」や、収穫を祝うお祭りなどの風景に季節の移ろいを感じ、「そろそろ、冬支度をしなきゃ！」と感じるこの頃です。(K.K.)

